



熊本市 感染症発生動向調査 速報



全国では2013年以降、熊本市でも昨年から急増中!!
男性では20～50歳代、女性は20歳代が多く報告されています。

予防してね



性行為(口や性器)で感染、キスでうつることもあります。予防にはコンドームが有効です。不特定多数との接触をさげましょう。

無症状だったり、放っておいても症状が軽快することもあります。病気は進行していきます。症状があるときは早めに、皮膚科、泌尿器科、性病科、婦人科などを受診してください。

妊婦の感染は流産や死産、赤ちゃんの先天性梅毒の原因になることもあります。また、HIV、クラミジア、淋病など、他の感染症にも感染しやすくなります。



早期発見・早期治療が大切!! 熊本市保健所ではHIV検査と一緒に梅毒の検査も受けられます。詳しくはホームページをご覧ください。

熊本市 梅毒発生数 過去7年間 2018年11月16日現在

	平成23年 2011年	平成24年 2012年	平成25年 2013年	平成26年 2014年	平成27年 2015年	平成28年 2016年	平成29年 2017年	平成30年 2018年 11月6日現在
熊本市	10	7	2	4	8	14	63	64
熊本県	12	13	7	7	11	16	79	81
全国	827	875	1228	1661	2690	4575	5826	5757



熊本市HIV(エイズ)検査相談ホームページ

期 間		平成30年 43週		平成30年 44週	
		10/22～10/28		10/29～11/4(最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	17	0.68	8	0.32
RSウイルス感染症	➡	15	0.94	7	0.44
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	2	0.13	1	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ⚠	➡	25	1.56	24	1.50
感染性胃腸炎 ⚠	➡	91	5.69	98	6.13
水痘(みずぼうそう)	➡	1	0.06	0	0.00
手足口病	➡	10	0.63	12	0.75
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	➡	4	0.25	9	0.56
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	9	1.80	13	2.60
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	1	0.20	0	0.00